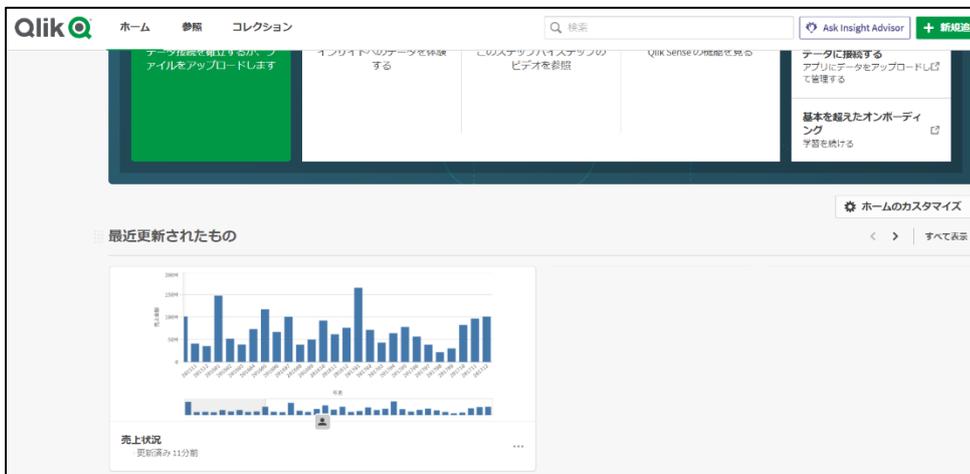


チャートの監視機能

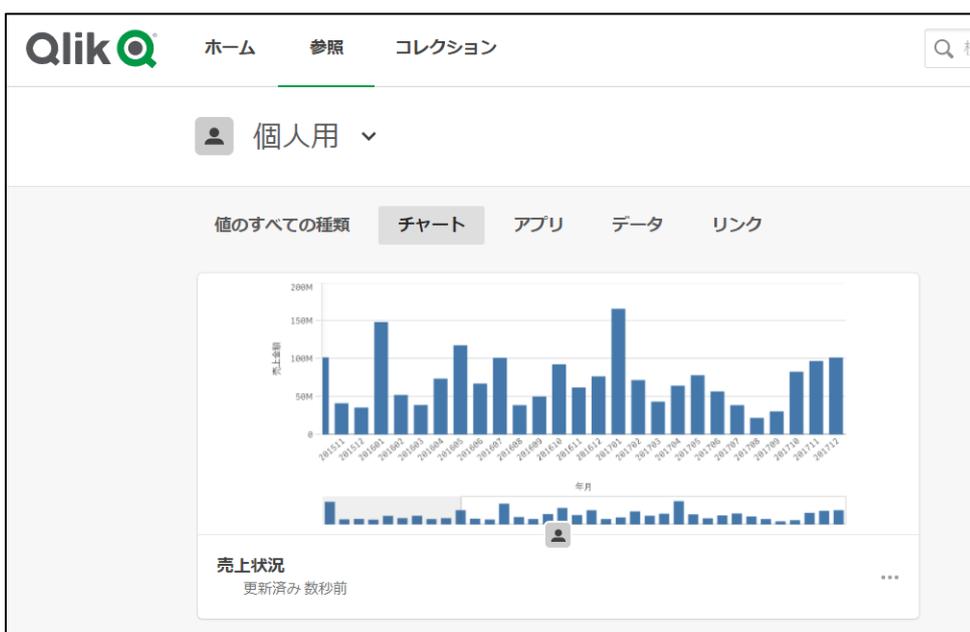
2021/04 現在

Qlik Sense SaaS にはアプリを開かずに、特定のチャートを確認できる機能があります。チャートはクラウドハブのトップページに配置されます。チャートが存在するアプリのデータソースが更新されると、クラウドハブに配置したチャートも更新されます。

- ログイン直後に表示される、[ホーム]タブの[最近更新されたもの]に表示されます。



- [参照]タブの[チャート]に表示されます。



■メーカーCommunity サイト

<https://community.qlik.com/t5/Qlik-Design-Blog/Monitor-Visualizations-in-the-Cloud-Hub/ba-p/1768006>

■作成手順

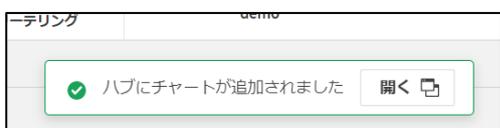
1. 監視したいチャートを右クリックし、[ハブで監視]を選択します。



2. プレビューを確認し、名前を設定します。
[ビューステートを保存]にチェックを入れると、スクロールが現在地点で保存されます。



3. ハブにチャートが追加されると、以下のポップアップが表示されます。



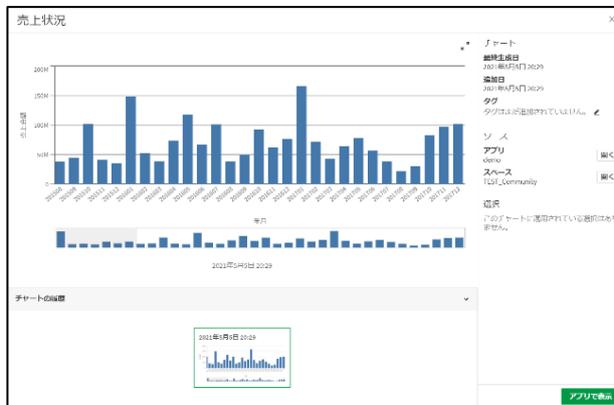
■機能

表示されたチャートにカーソルをあてると、

[チャートを表示]、[アプリで表示]の2つのメニューが表示されます。



[チャートを表示]を選択すると、これまでのチャート履歴の確認やアプリの展開、対象アプリが格納されているスペースへの移動が可能です。



アプリを開く、あるいは、
スペースを開くことができます。

[アプリで表示]を選択する
と、シートが開きます。

● チャート履歴の確認

チャートの以前のバージョンを表示することができます。

チャートの2つのバージョンを比較することもできます。



履歴セクションのチャートにカーソルを合わせると、以下図のようにチャートの右上隅に①、②が表示、あるいはその両方が表示されます。



1 を選択すると、比較のために選択したグラフの左側にグラフが移動します。

2 を選択すると、比較のために選択したグラフの右側にグラフが移動します。

- チャートの右下[...]を選択すると、以下のメニューが表示されます。



- | | |
|-----------|--------------------------|
| 詳細 | : リロード履歴など、チャートの詳細を表示します |
| コレクションに追加 | : グラフをコレクションに追加します。 |
| 編集 | : チャートの名前、タグを編集します。 |
| 削除 | : 監視からチャートを削除します |

以上